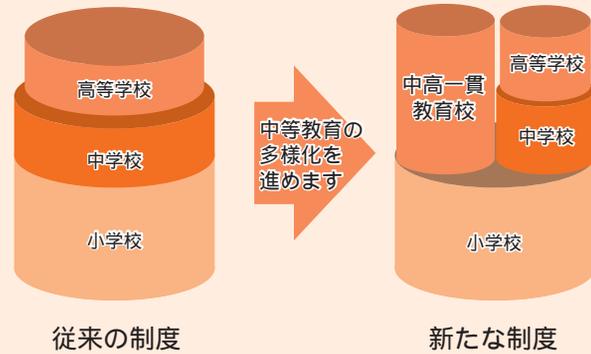


中等教育学校の誘致と 公立高等学校の再編

中高一貫教育とは

中高一貫教育は、平成11年4月から制度化されたもので、これまでの中学校・高等学校に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫教育も選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指すものです。



中高一貫教育において期待される効果

学校教育においては、『ゆとり』の中で『生きる力』をはぐくむことを目指し、個性尊重という基本的な考えに立って、一人ひとりの能力・適性に応じた教育を一層充実させることが求められています。

中高一貫教育はこうしたニーズに応え導入されました。

期待される効果として、次の4つが考えられます。

ゆとりある安定した学校生活

ゆとりある安定した学校生活の中で、試行錯誤や体験を積み重ね、豊かな学習にじっくり取り組むことができます。

個性の伸長や優れた才能の発見

6年間にわたる継続的な教師と生徒のふれあいや指導により、個性の伸長や優れた才能の発見が一層容易になります。

社会性や豊かな人間性の育成

幅広い年齢層の生徒による活発な活動や交流を通して、社会性や豊かな人間性、リーダーシップなどが育成されます。

効果的な教育の実現

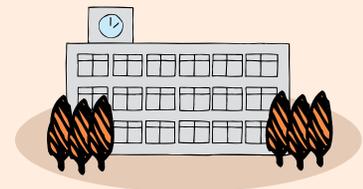
6年間を見通した、計画的・継続的な指導が展開でき、系統的・効果的な教育が可能になります。

中高一貫教育校には次の3種類があります

中等教育学校

一つの学校として、6年間一体的に中高一貫教育を行うもの。

公立の中等教育学校の入学については、学力試験は行わず、それぞれの学校の設置者の決定により、面接、実技、推薦、抽選などの方法を



組み合わせて行います。

併設型の中学校・高等学校

中等教育学校よりも緩やかな設置形態であり、同一の設置者による中学校と高等学校を接続します。

公立の併設型の中学校の入学については、中等教育学校と同様の方法で行います。



連携型の中学校・高等学校

既存の市町村立の中学校と都道府県立の高等学校が、教育課程の編成や

教員・生徒間交流などの連携を深める形で中高一貫教育を行います。

連携型の高等学校では、調査書や学力試験による入学者選抜は行わず、面接、実技などの簡便な方法で行うことができます。

